第１１号様式　別紙１　　　　　　　　　　　　　　（令和 2 年度計画分　エネルギー環境計画書）

氏名（法人にあっては名称）	株式会社エネット
住所	東京都港区芝公園2丁目6番3号　芝公園フロントタワー19F

自社等発電所(*1)の有無	有
電気事業の概要	◆電気小売事業及び電源調達について LNG（液化天然ガス）発電をはじめ、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーも積極的に調達し、環境負荷の低い安定した電気を全国の皆様に供給しております。 ◆付加価値サービスの提供 電気のCO_2排出量低減メニューEnneGreen[R]や、AIを活用した省エネルギーサービスEnneteye[R]をはじめとした付加価値サービスを提供し、お客さまの事業活動に伴うCO_2排出量の低減や施設の省エネルギーに対するニーズにお応えしています。
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	■EnneGreen[R]の販売を推進する担当にて、CO2排出量を抑えた電気の販売を推進して参ります。 ■電源調達の担当にて、火力発電の中で環境負荷の低いLNG（液化天然ガス）発電をはじめ、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーの調達を推進して参ります。 ■再生可能エネルギーの導入計画、環境への取り組み指針を策定し、目標達成に努めて参ります。

電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標

年　度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
前年度実績（ 2019 年度）	0.391　($kg-CO_2/kWh$)	0.408　($kg-CO_2/kWh$)
当年度目標（ 2020 年度）	0.391以下 ($kg-CO_2/kWh$)	0.408以下 ($kg-CO_2/kWh$)
短期目標　（ 2023 年度）	極力低減 ($kg-CO_2/kWh$)	極力低減 ($kg-CO_2/kWh$)
長期目標　（ 2037 年度）	極力低減 ($kg-CO_2/kWh$)	極力低減 ($kg-CO_2/kWh$)

（目標に係る措置の考え方）

LNGや再生可能エネルギーなど環境負荷の低い電源調達を積極的に行い、お客さまに提供する電気の低炭素化を目指します。

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（実二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。
*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

<table>
<tr><td rowspan="2">電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標</td><td>自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標

年　度	再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ発電量(*4)	再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ導入率(*5)
前年度実績 (2019 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
当年度目標 (2020 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
短期目標 (2023 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
長期目標 (2037 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)

（目標に係る措置の内容）

EnneGreen[R]の販売を拡大するとともに、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーの調達を推進して参ります。</td></tr>
<tr><td>調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標

年　度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
前年度実績 (2019 年度)	3,300 (千kWh)	14.16 (%)
当年度目標 (2020 年度)	3,300 (千kWh)	14.16程度 (%)
短期目標 (2023 年度)	極力活用 (千kWh)	- (%)
長期目標 (2037 年度)	極力活用 (千kWh)	- (%)

（目標に係る措置の内容）

EnneGreen[R]の販売を拡大するとともに、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーの調達を推進して参ります。</td></tr>
<tr><td>電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標</td><td>清掃工場等の廃棄物発電からの電力を積極的に調達するなど、未利用エネルギー等による発電量の割合の拡大を図ってまいります。</td></tr>
<tr><td>火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標</td><td>■主力LNG（液化天然ガス）発電所においては、最新鋭のコンバインドサイクル方式を用いることにより高い熱効率を実現しています。
■自社等火力発電所においては、部分負荷運転を極力回避するなど、運用面でも工夫することにより熱効率の向上に努めております。
■熱効率の高いコージェネレーション発電設備からの余剰電力を調達するなど、熱効率の向上に取り組んでおります。</td></tr>
<tr><td>本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組</td><td>■再生可能エネルギーや証書を活用し、通常メニューよりもCO_2排出量を抑えたサービス（EnneGreen[R]）をご提供することで、お客さまの再生可能エネルギー調達やCO_2排出量の低減をサポートします。
■お客さま施設の電力データをスマートメーターを通じて自動的に収集し、AIを活用して解析、問題点の抽出や省エネ方法のレポートをお届けするサービス（Enneteye[R]）をご提供し、お客さまの環境保全ニーズを、省エネを通じて強力にサポートします。</td></tr>
<tr><td>その他の地球温暖化の防止に貢献する取組</td><td>事業活動におけるエネルギー、資源の有効利用に努めます。具体的には以下の取り組みを実施します。
■夏季の軽装化や照明用の電気の節約等の施策
■エネット本社が使用する電気は、FIT電気に非化石価値取引市場から購入した非化石証書を組み合わせることで、実質CO2排出量ゼロの電力供給を実現しています。</td></tr>
</table>

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。
*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。
*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。
*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。
*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。